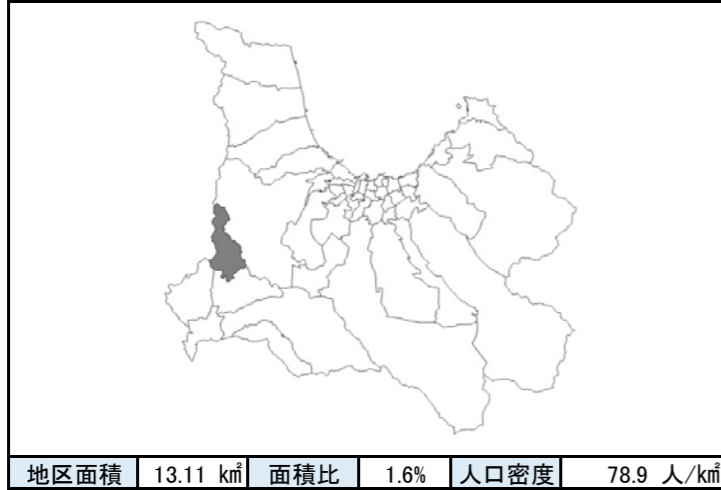


地区別防災カルテ

様式1 防災データベース

No. 42
大栄小学校

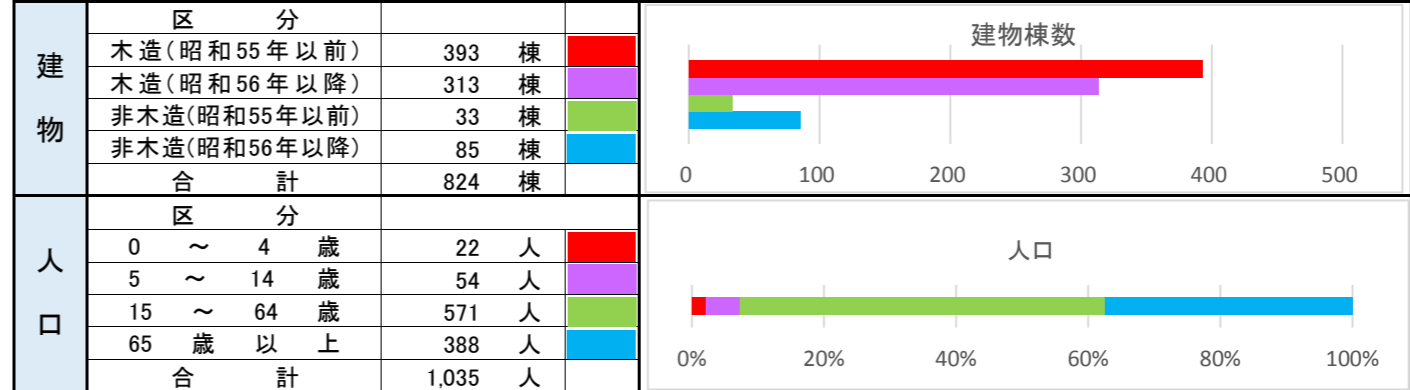
●位置図



●地区を構成する町丁

徳才子(字福田、字船岡、字早稲田、字山本)、長沼(字小沢、字大沢、字南藤巻、字北藤巻)、大釈迦(字前田、字沢田、字山田、字山本、字中田、字沢井、字沢内沢)

●建物数・人口



●防災関連施設分布

市役所、支所、その他主な公共施設	2 箇所	大釈迦駅前会館、徳長農村センター
警察署	1 箇所	徳才子駐在所
消防署	0 箇所	
消防団詰所等	2 箇所	浪岡消防団第10分団、浪岡消防団第9分団
病院等	0 箇所	
幼稚園・保育園	1 箇所	大釈迦保育園
その他、主要配慮者利用施設	1 箇所	大釈迦リハビリ倶楽部
	0 箇所	高齢者福祉関連施設
	0 箇所	児童福祉関係施設
障がい児施設等	0 箇所	
学校等	1 箇所	大栄小学校
避難所	2 箇所	大栄小学校、大釈迦駅前会館
広域・一時避難場所	0 箇所	
臨時ヘリポート	0 箇所	

●地区概況・所見

- 青森市の西部に位置し、西縁が五所川原市との市境に接する。また、校区の中央を国道7号線と在来線が縦断する。
- 隣接小学校区は新庄中央、浪岡北、浪岡野沢。
- 周囲を山地に囲まれており、中央部の扇状地に住宅が集中している、北部には建物がほとんど存在しない。
- 建物の約半数が昭和55年以前建築の木造建物で占められており、建物が被害を受ける可能性が高い。

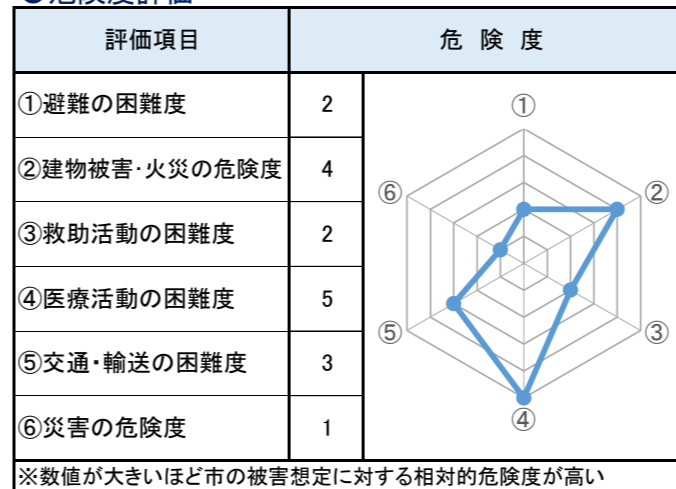
●地震被害予測結果

	入内断層地震						太平洋沖地震	
	冬18時(風速3m/s)		冬早朝深夜(風速3m/s)		夏12時(風速3m/s)		冬18時(風速3m/s)	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	32	3.88%	8	0.97%	8	0.97%	14	1.70%
建物焼失	24	2.91%	0	0.00%	1	0.12%	9	1.09%
死者	1	0.10%	1	0.10%	0	0.00%	0	0.00%
重傷者	1	0.10%	1	0.10%	1	0.10%	0	0.00%
自力脱出困難者	1	0.10%	1	0.10%	1	0.10%	0	0.00%

●近年の主な災害履歴

地震	2011年3月11日	東北地方太平洋沖地震	市内全域で約1日の停電
台風	2013年9月15日	台風18号	市内全域で(床上浸水24件/床下浸水128件/一部破損2件)
集中豪雨	2012年7月16日	大雨被害	浪岡地区全域で(床上浸水2件/床下浸水35件)

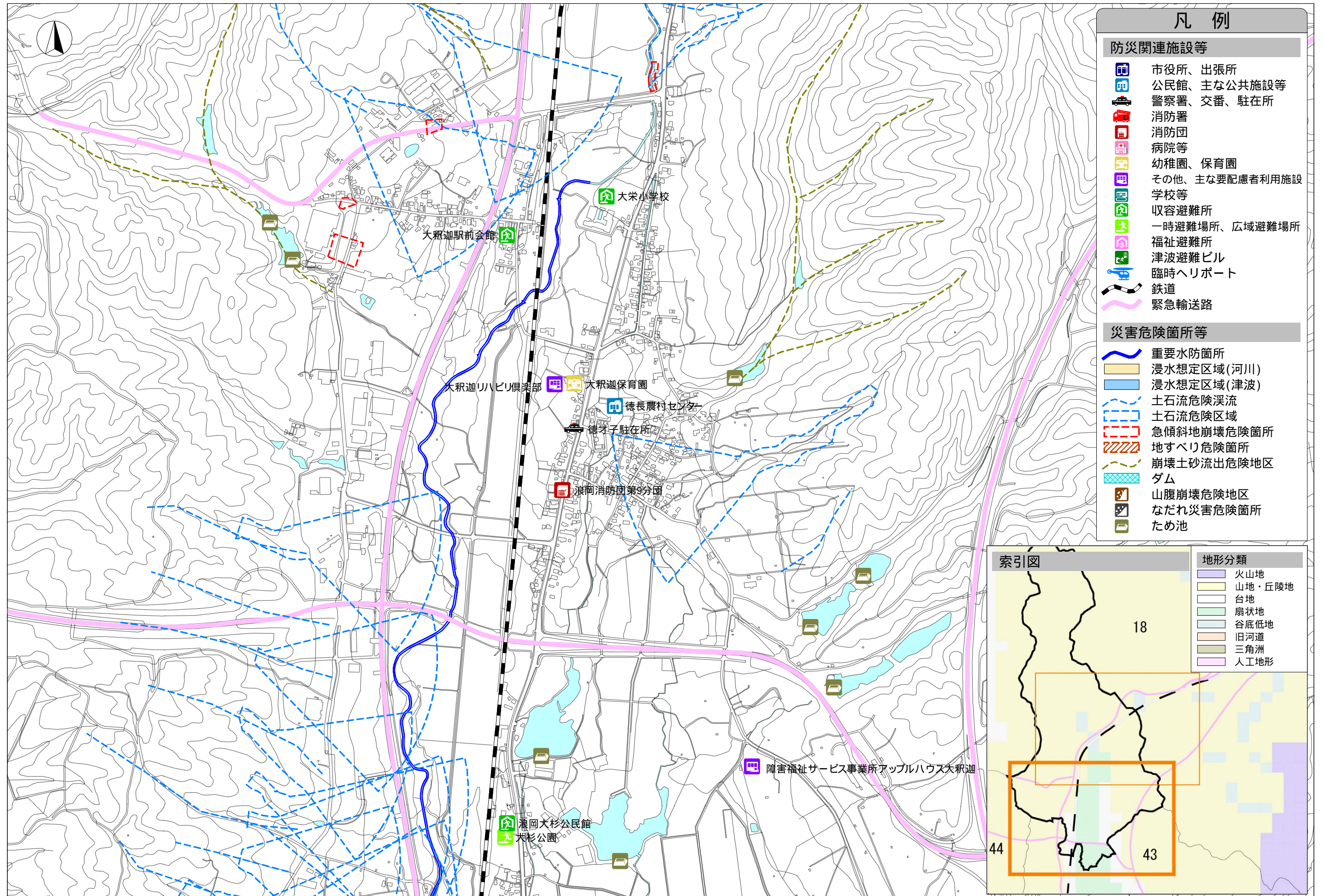
●危険度評価



●防災上の課題

- 昭和55年以前の木造建物が約半数であるため、建物被害・火災の危険度が相対的に高い。
- 重要水防箇所の大釈迦川が市街地周辺を流れているほか、山地には急傾斜地、土石流などの土砂災害警戒区域が多数存在しており注意が必要である。
- 学区内に医療施設が存在しておらず、医療活動の困難度が非常に高い。被災時には周辺校区との連携が不可欠である。

●メモ欄



凡例

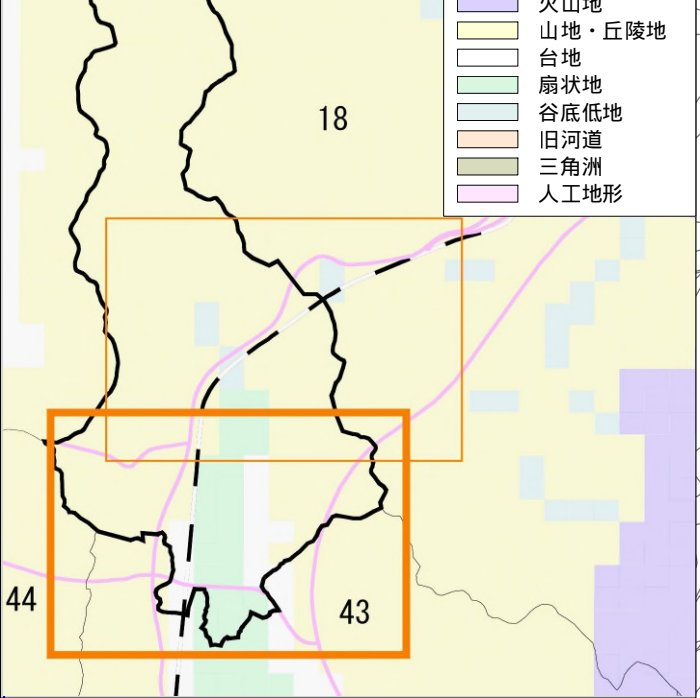
防災関連施設等

- 市役所、出張所
- 公民館、主な公共施設等
- 警察署、交番、駐在所
- 消防署
- 消防団
- 病院等
- 幼稚園、保育園
- その他、主要要配慮者利用施設
- 学校等
- 収容避難所
- 一時避難場所、広域避難場所
- 福祉避難所
- 津波避難ビル
- 臨時ヘリポート
- 鉄道
- 緊急輸送路

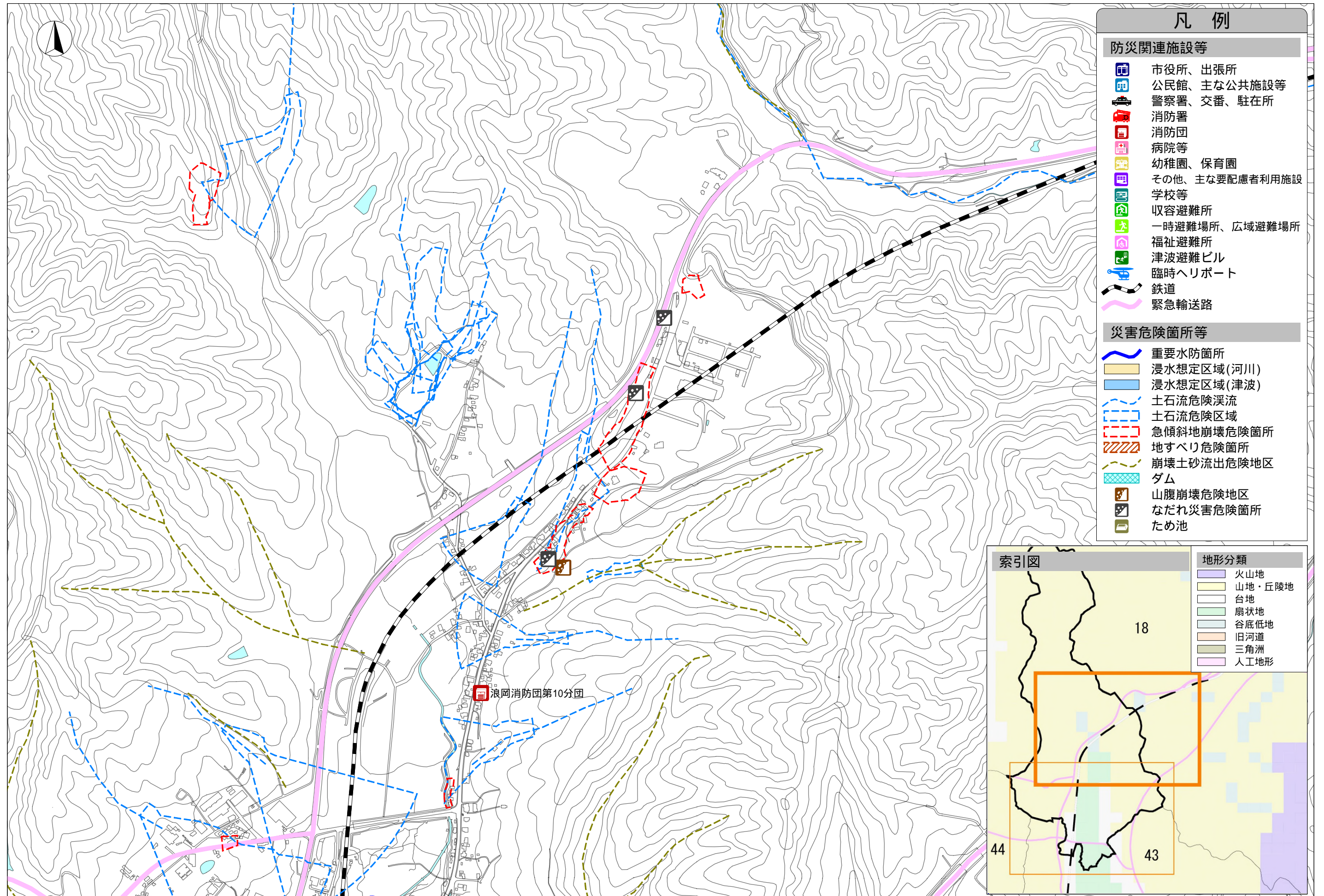
災害危険箇所等

- 重要水防箇所
- 浸水想定区域(河川)
- 浸水想定区域(津波)
- 土石流危険渓流
- 土石流危険区域
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 地すべり危険箇所
- 崩壊土砂流出危険地区
- ダム
- 山腹崩壊危険地区
- なだれ災害危険箇所
- たため池

索引図



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平...情使、第...号)



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。
(承認番号 平...情使、第...号)



1:10000 平成 年度作成